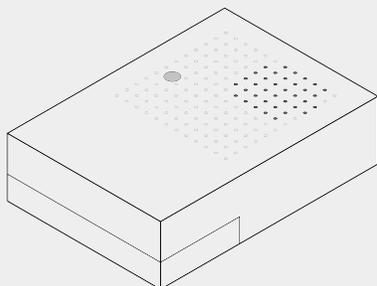


プリンポン取扱説明書

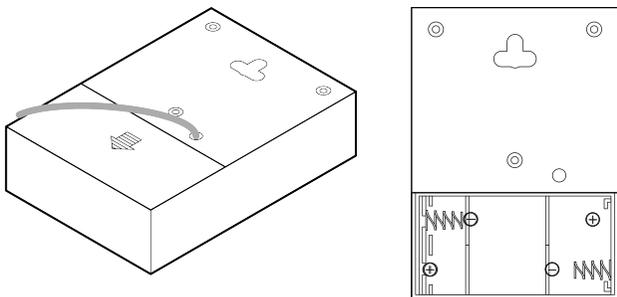
テクノベインズ株式会社



1. 電池の取付け

本装置は市販の単三乾電池 2 本を使用します。電池は付属しておりませんが、別途ご購入ください。※推奨 単三アルカリ乾電池(1.5V/LR6/AA)

装置裏の電池蓋を矢印方向にスライドして開き、電池挿入部のスプリングがある側に乾電池のマイナス側を取り付けてください。



※充電式ニッケル水素電池もご使用いただけますが、ニッケル水素電池は公称電圧が低い(1.2V×2)ため、満充電状態であっても電池電圧簡易チェック(項目3)時の点灯回数は少なく表示されます。

※電池残量が少なくなり、電圧合計が 2.2V より低くなると、チャイム音が小さくなったり、音色が変わったり、LED が点灯しなくなる場合があります。

電池残量が少なくなったり、動作しない場合、新しい電池に交換してください。

2. 電源スイッチ

本装置に電源スイッチはありません。

鳴動していない待機状態の時には、自動的に低消費電力のスリープモードに入り、電池の消費を抑えます。

※長期間ご利用にならない際は、電池の液漏れを防ぐ為、電池を本体から取り外してください。

プリンタ外付けチャイム プリンポン 取扱説明書 [PrinPong 製品型番:PPCM1W]

プリンポンは各社レシートプリンタのキャッシュドローコネクタ(DKD)に接続し、ソフトウェアにてチャイム音を鳴らす装置です。

プリンタから離れた場所でも、大きな音で印字をお知らせします。

騒音などで聞きとりにくい場合でも、LED ランプにより目視確認することができます。

安価で入手性の高い単三乾電池にて長時間動作します。

小型軽量で、プリンタに取り付けができます。

製品同梱物

- プリンポン本体 型番:PPCM1W
- マジックテープ
- 取扱説明書

※DKD 接続ケーブルは本体に付属 (裏面から直出し)

3. 電池取り付け時の電池残量簡易チェック機能

電池を取り付けた時に、電池の電圧チェックを行い、結果を表面 LED の点滅にて表示します。

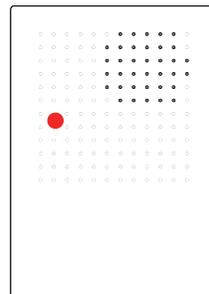
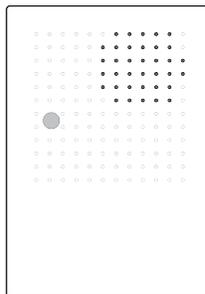
一回の LED 点灯に続き、検出した電池の電圧により、短い点滅が複数回続きます。

電池の電圧が十分に高い(電池残量がある)場合、LED は点灯後に 5 回点滅します。

電池電圧が低い(電池残量が少ない)場合、LED の点滅回数が少なくなり、1 回の点滅の場合は、まもなく電池交換が必要な状態です。

電池電圧が動作可能電圧より低くなった場合、LED は点灯しません。

電池残量を再度チェックしたい場合、電池を一旦外し、再度取り付けることでチェックができます。



4. 設定

本装置には設定機能はございません。

5. 装置の取付（設置）方法

本装置は接続するプリンタの側面などに取付けて使用します。

取付方向、位置の制限はありません。

付属の粘着剤付きのマジックテープを用い、プリンタの側面などに固定できます。

マジックテープを貼り付ける際には、貼付する面の汚れやホコリを予め除去してください。

（本装置にマジックテープを貼り付ける際は、本装置裏側（ケーブルがある側）の電池蓋以外の位置へ貼付してください）

壁などに木ネジによる取り付けを行う場合には、本体背面の壁掛け用ネジ穴を使用します。

※本製品は屋内用です。防水ではございませんので、水のかからない場所でご使用ください。

6. レシートプリンタとの接続方法

本装置裏面から出ているケーブル先端の 6 極モジュラープラグを、レシートプリンタ背面の DKD

コネクタ（キャッシュドリア接続用 6 極モジュラージャック）にカチッというまで差し込みます。

コネクタの差し込みが緩いと接触不良となり、誤動作します。

重要 EPSON 製プリンタには、キャッシュドリア接続用 6 極モジュラージャック（電話用と同型）の他に、プリンタ機種によりカスタマイズプレイ接続用の 8 極モジュラージャック（LAN 用と同型）の 2 種類を備えた機種があります。6 極モジュラーコネクタは幅が狭いため、差し込み口の幅が広い 8 極ジャックにも挿すことができるので、誤って差し込まないようにご注意ください。

誤って DKD 以外のコネクタに挿さないようにご注意ください。

8. 技術詳細

プリンタドライバやプリンタコマンドなどによるドリア開放動作により 0.01 秒（10mS）以上の開放信号を受け取った場合に鳴動します。

ドリア開放動作の設定がある場合やご自分でプリンタにコマンドを発行する場合、ドリア開放時間としてマージンを含み 50mS 程度の設定を推奨します。

コネクタ DKD モジュラージャック [6-4 タイプ]

Pin 信号

1. N.C
2. DRV1 フォトカプラ 1 カソード入力
3. N.C
4. +24V フォトカプラ 共通アノード入力
5. DRV2 フォトカプラ 2 カソード入力
6. N.C

注意

本装置はドリアが開いたことを示すオープンステータスは返しません。

ドリア開放後にソフトによりオープンステータスをチェックしている場合、オープンエラーが表示されることがあります。

※OPOS ドライバを用いたソフトでは、キャッシュドリア開放ステータスのチェックが行われることがあります。エラーとして認識するソフトの場合、エラーを無視するように変更ください。（実際にエラーは発生していません。）

ステータス応答が必要な場合、上位機種の PRNBLC のご使用を推奨します。

7. 作動方法

レシートプリンタのドリア接続コネクタ（DKD）に接続したキャッシュドリアをオープンにする動作手順を行うことで、プリンタに接続したプリンポンを鳴動します。

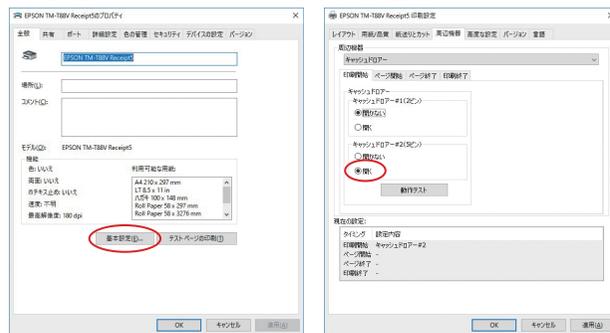
1 回の開放動作で、チャイムは 2 回（ピンポン・ピンポン）鳴ります。

キャッシュドリアの駆動は、ドライブ 1、ドライブ 2 いずれを開放した場合でもチャイムは鳴動します。鳴動後、LED 点滅が数秒間継続します。

LED の点滅中は、次の鳴動の受付を禁止します。LED 点滅終了後、次の鳴動を受け付けます。

Windows ドライバにてプリンタをご使用の場合、プリンタ印刷設定画面にて、「印刷の前または後にキャッシュドリアを開く」設定を行ってください。

以下は EPSON プリンタドライバで、ドライブ 2(5 ピン)を使用してレシート印刷開始時に鳴動する設定例です。



注意

プザーを内蔵する一部のプリンタ機種で、その設定項目がドライバダイアログに表示される場合がありますが、それらはプリンポンの動作原理とは異なりますので、「使用しない」に設定してください。

開発・製造

テクノベインズ株式会社 〒110-0016 東京都台東区台東4-21-21 橋本ビル2F

TEL:03-3832-7460

<https://www.technoveins.co.jp>